

# Aging in Place に関する日米共同研究 キックオフ報告

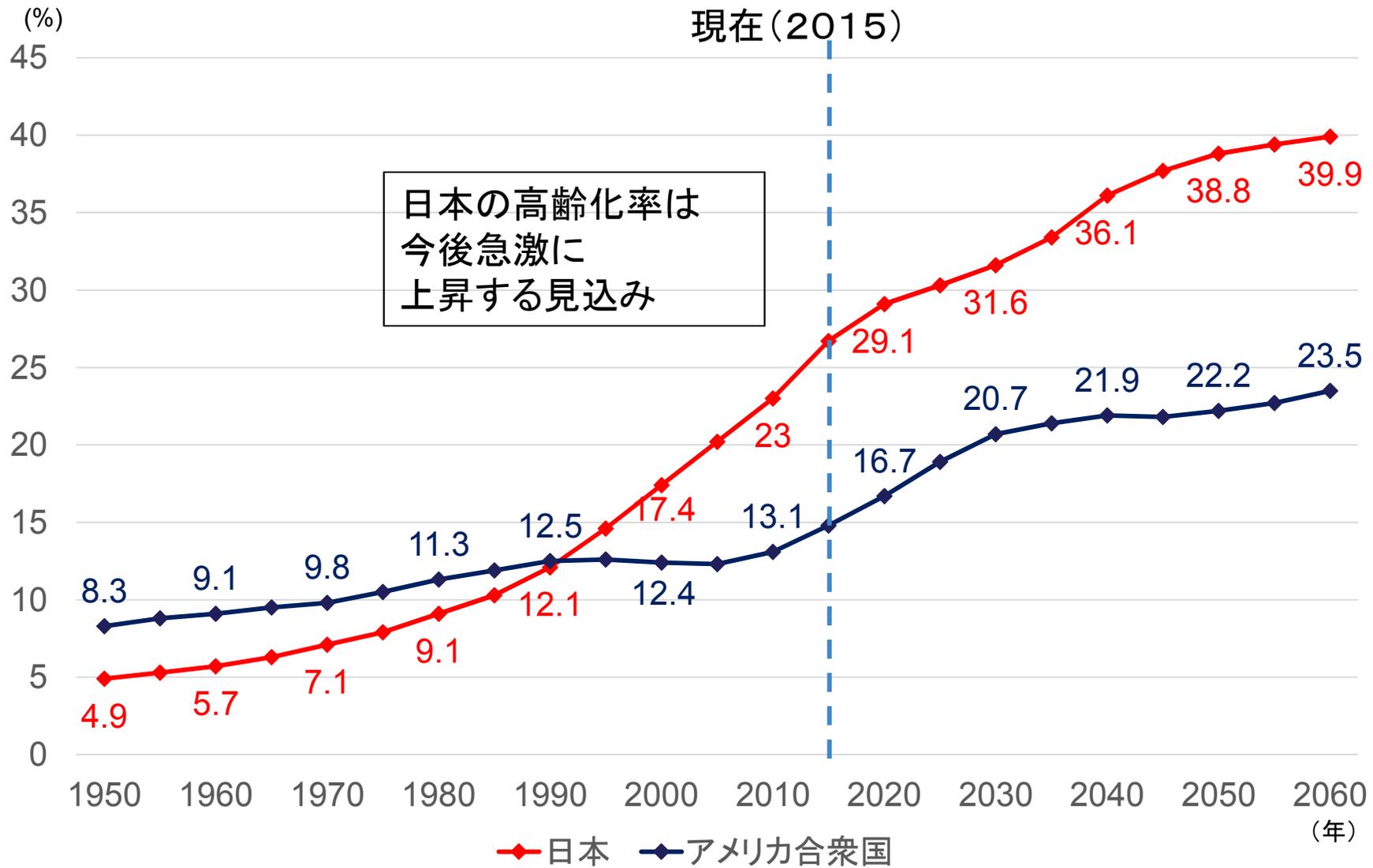
---

国土交通政策研究所  
研究官 石井義之

平成29年5月24日

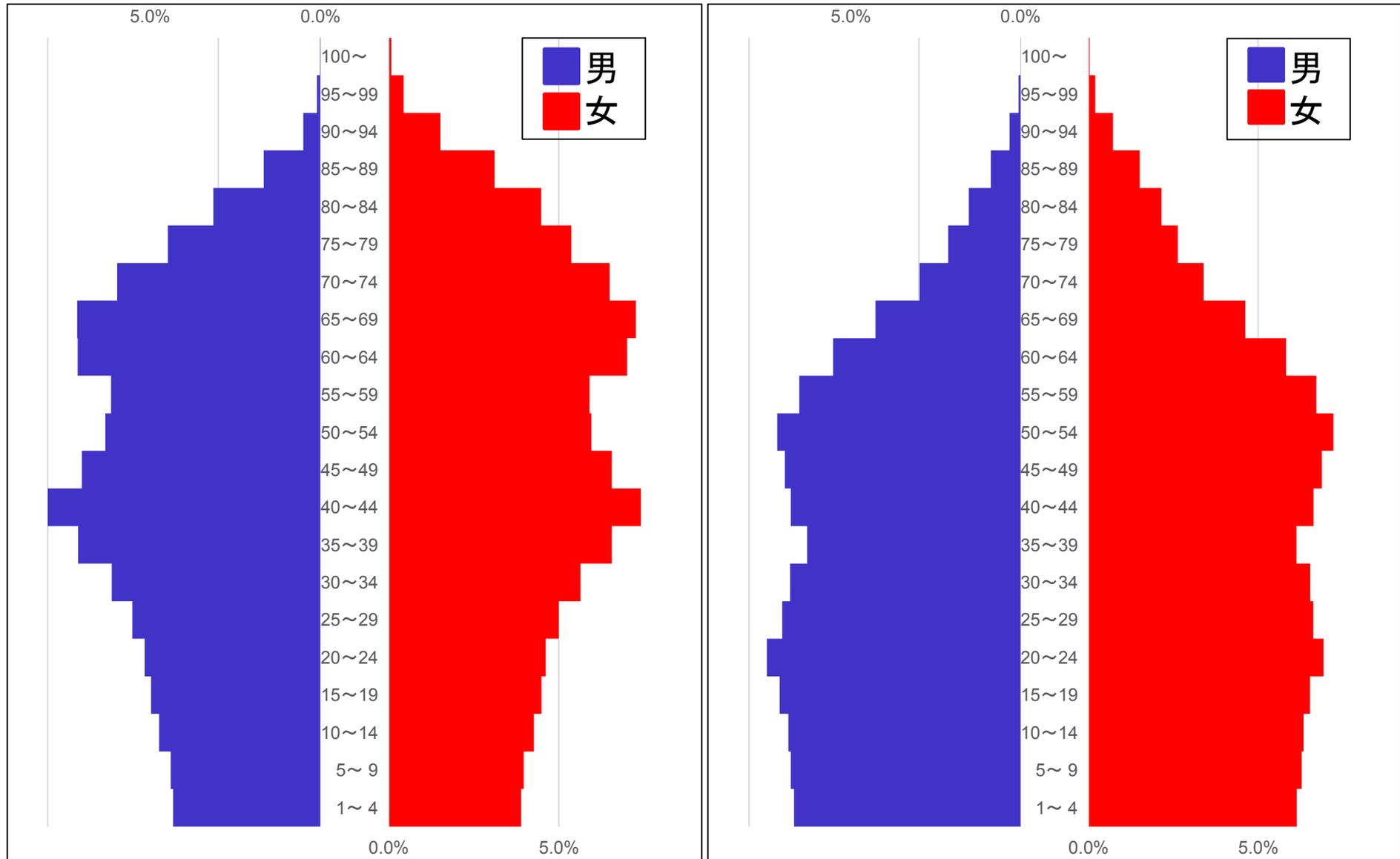
- 1 共同研究の背景・目的
- 2 研究の内容（予定）
- 3 視察報告

# 1 共同研究の背景－日米の高齢化率の推移



高齢社会白書H28(内閣府)を基に国政研作成

# 1 共同研究の背景－日米の人口の年齢比



日本(2014)

アメリカ合衆国(2012)

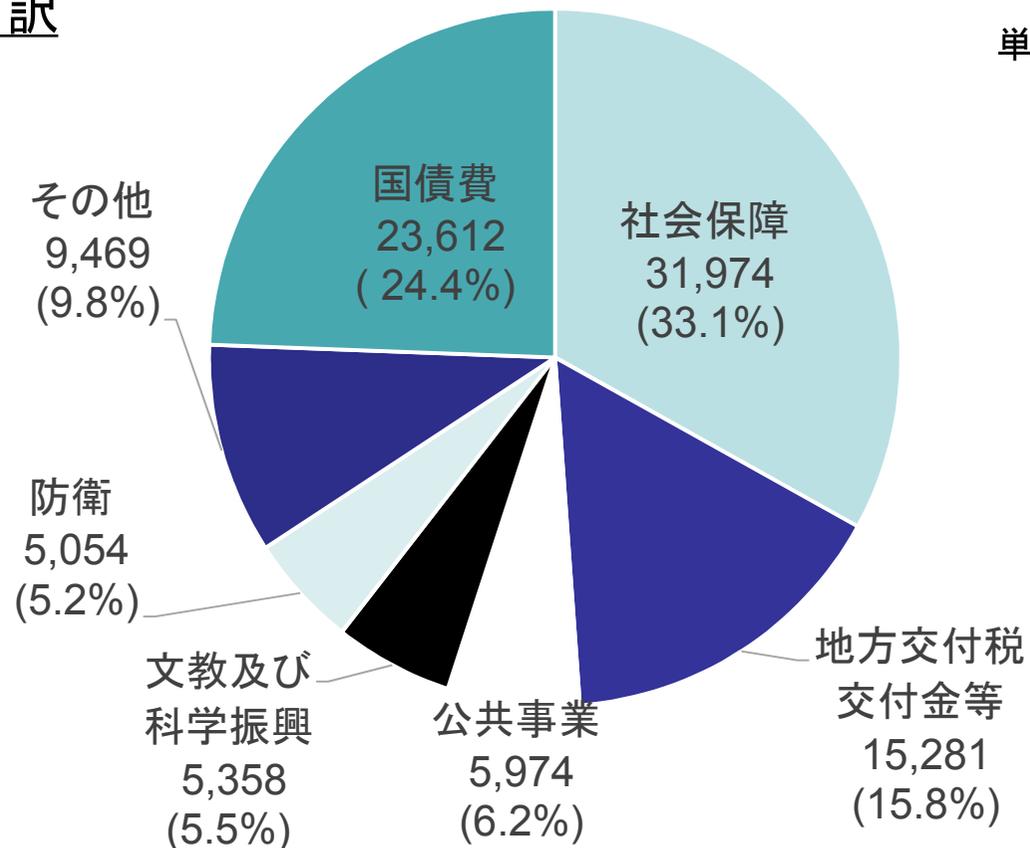
総務省統計局ホームページ「日本の統計2016」を基に作成

## 日本社会の現状

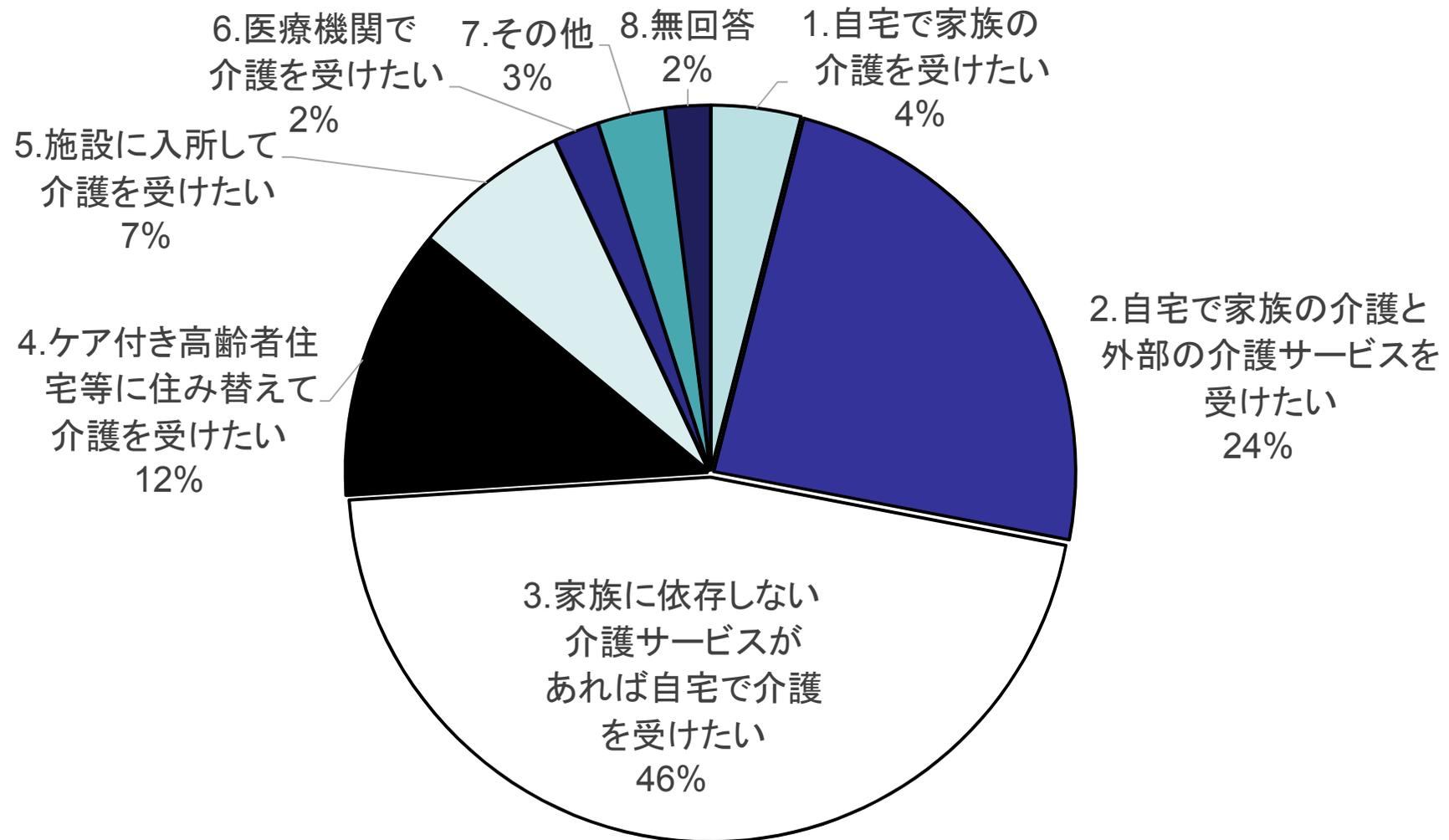
- ・ 国・地方の財政が厳しい
- ・ 都市部での高齢化の急激な進展
- ・ 高齢化で更なる社会保障費の増加が懸念される

### H28 一般会計歳出の内訳 (財務省ホームページを もとに編集)

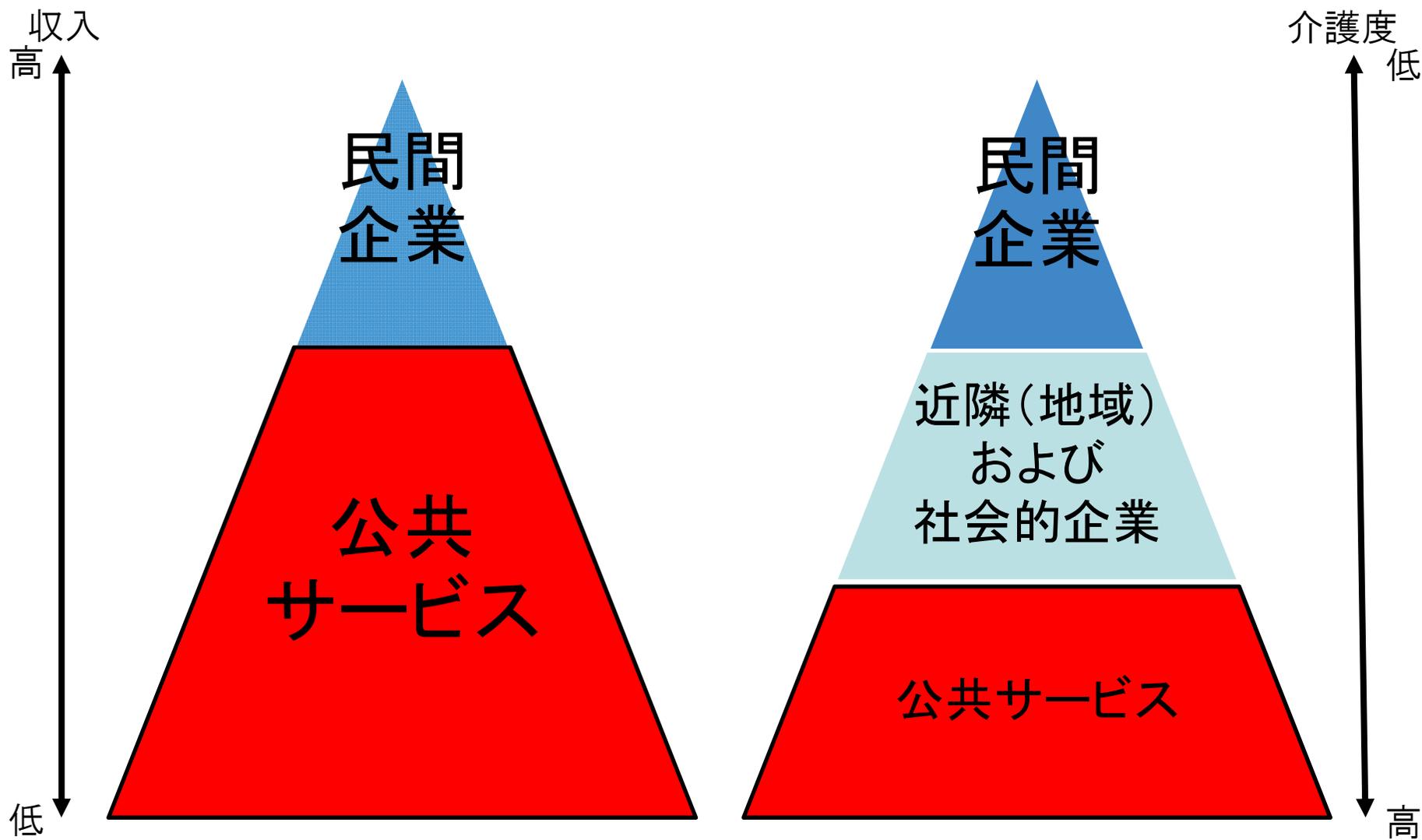
単位：十億円



## 高齢者は在宅介護を希望している

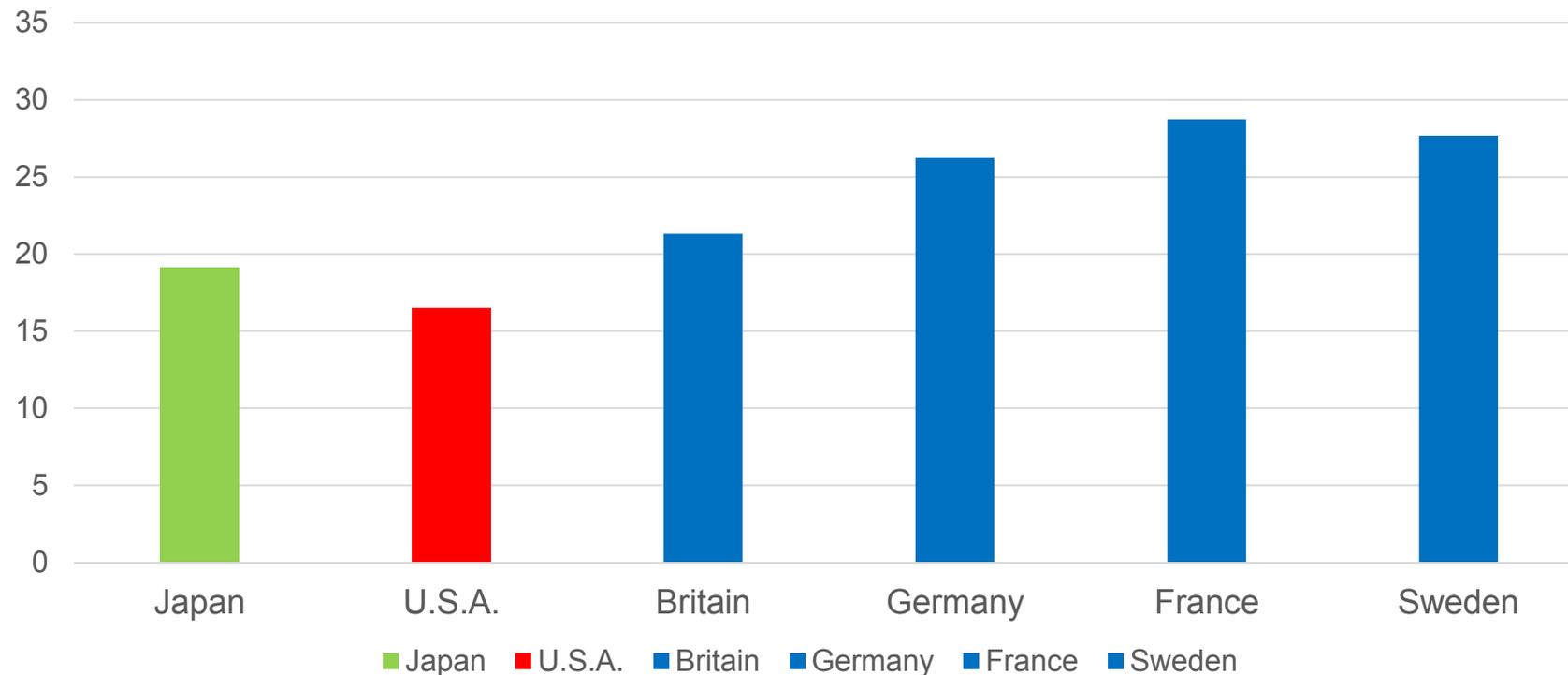


どのように公共サービスの不足を補うのか



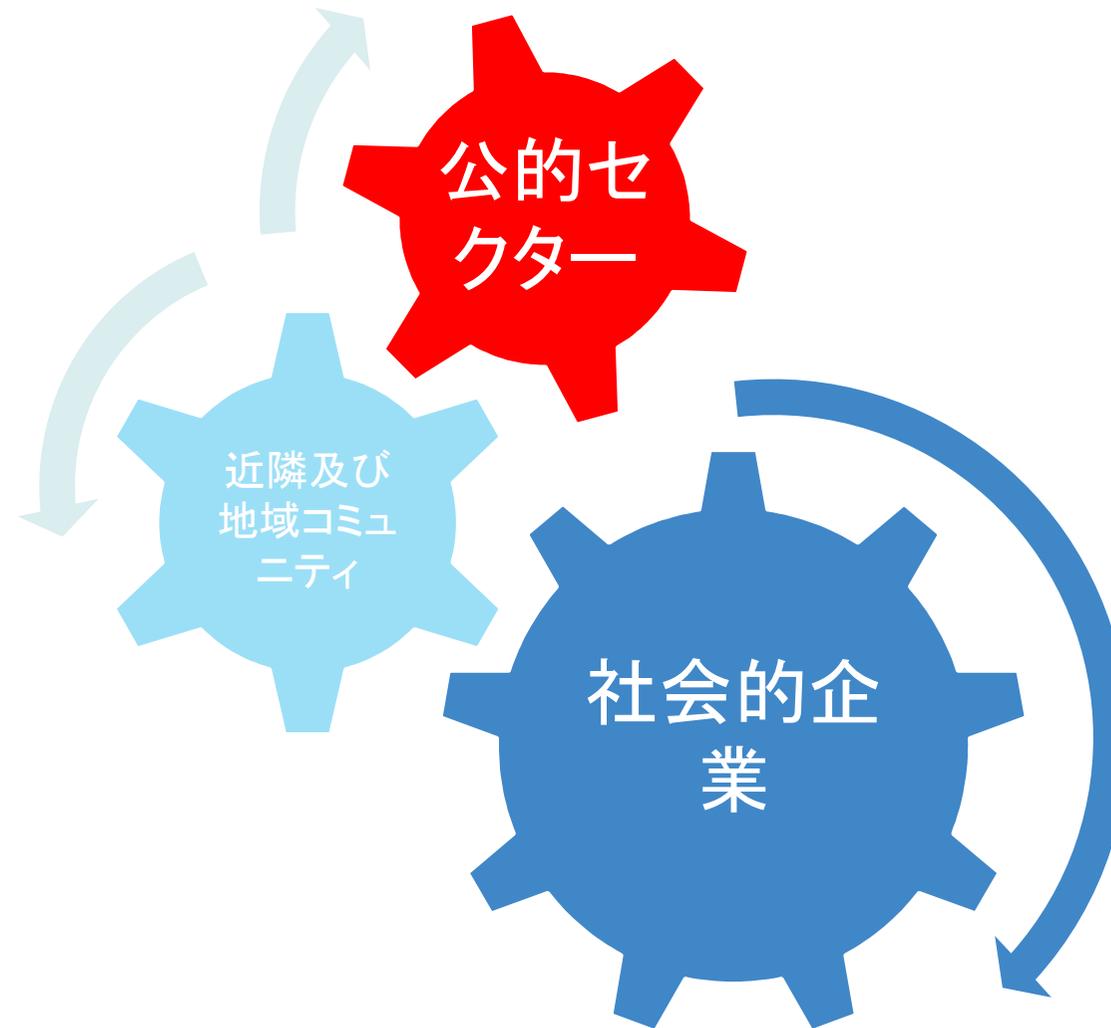
## 米国の社会保障関係支出は比較的少ない

The ratio of social expenditure to GDP(%)



Source: Ministry of social welfare and labor, Japanese government

社会実験をどこから始めるか？



次の取組等を、民間事業者との協働で行いたい

- 住宅団地での移動販売、サテライト店舗  
= 行政は、土地利用・公園使用の規制緩和等を検討
- 団地での生活支援・高齢者の見守り  
= 行政は、団地内での拠点運営の支援等

## 今後日本の高齢化対策に求められる対策

### 対策の視点

- ・住宅地を前提とした、地域自立的な仕組みづくり
- ・民間企業のイノベーションと、地域で支え合う仕組みの連携が必要
- ・収益事業と社会的事業の一本化による持続可能な仕組みの構築

## 今後日本の高齢化対策に求められる対策

### 本研究では

- ・ 公的支出に頼らない持続可能な仕組みを、社会実験としてモデル的に構築する予定
  - 1 民間事業者等によるサービスの事業化
  - 2 市民の互助によるサービス
  - 3 1・2のサービス等を、行政の規制緩和等によって支援

## 共同研究で期待する内容

### 研究課題

- ・日本における研究の参考とするため、次の点について米国の事情を学びたい
  - 1 民間事業者等による高齢者向けサービス
  - 2 地域における住民互助の状況
  - 3 住民サービスの供給を含めた、住宅地のエリアマネジメント
- ・米国の研究関心に資する、日本の事例等の情報提供
- ・上記の情報交換を踏まえ、両国で共通する高齢者サービスに関する課題を共同研究したい

### 【事例調査】

### 大学・学生による高齢者支援

- 大学生による高齢者の見守り
- 大学が地域連携として設置している、地域の拠点  
(高齢者サロンや地域の保健室など)
- 大学（子会社）が設置したサービス付き高齢者住宅と、そこでの学生による高齢者支援

### 【事例調査】

## 鉄道・開発事業者による高齢者サービス

- 鉄道会社が行っている、地域活動を支援する取組（拠点の設置や、活動の仕掛けづくり）
- 事業者が行う高齢者向けサービス
- 戸建て住宅地の開発事業者による団地再生の取組（その中で行われる高齢者支援に関する取組）

### 【事例調査】

## 団地における高齢者向けサービス

- NPOなどが、空き店舗を活用して開業しているコミュニティカフェ（レストラン）
- コミュニティカフェを夜間も営業し、居酒屋として地域の集いの場としている事例
- 空き住戸を活用し、高齢者住宅や一時的な貸し部屋としているNPO法人の事例

- 日本における研究・提言の参考とするため、次の点について米国の事情を学びたい
  - 1 民間事業者等による高齢者向けサービス
  - 2 地域における住民互助の状況
  - 3 住民サービスの供給を含めた、住宅地のエリアマネジメント
- 情報交換を踏まえ、両国で共通する高齢者サービスに関する課題を共同研究したい

### 視察先

- ★ Washington Center for the Aging
- ★ Collington Continuing Care Retirement Community
- ★ 2905 11th Street Assisted Living Facility
- ★ LeDroit Senior
- ★ Arthur Capper Senior

## Washington Center for the Aging

ワシントンD.C.郊外の「ナーシングホーム」

利用者のニーズに応じて、医療やソーシャルワークを提供している

運営費の多くは、メディケイド・メディケアから受給している



## Collington Continuing Care Retirement Community

ワシントンD.C.郊外のC C R C

入居者の介護の必要性は多様

入居者は様々なサービス（活動や講座など）を  
購入し、楽しんでいる



## 2905 11<sup>th</sup> Street Assisted Living Facility

ワシントンD.C.北部にあるアシステッドリビング  
アパートをリノベーション・増築した建物  
医療スタッフが常駐し、サービスを提供



### LeDroit Senior

住宅公社による高齢者・障害者向けの住宅  
低収入の住民を対象としたもの  
住民によるアクティビティーや委員会が活発で、建物の問題点などについての話し合いも。



# Arthur Capper Senior

近年開発が進むエリアにある、高齢者を対象とした公共住宅

複数の企業がパートナーシップを結び、建築費用を負担（維持管理費は住宅公社の補助あり）

